

① 地元西九州大学とのつながり

当事業所の近くに西九州大学があります。この、西九州大学にはESRDというサークルがあります。(Enjoy sports recreation day)ESRDサークルは、ニュースポーツやレクリエーションをはじめ、障がい者スポーツを取り入れ誰もが楽しく遊ぶ場を提供するといった趣旨のもと活動をされています。「響」の利用者の特性に合わせニュースポーツをアレンジして毎回いろいろな企画で楽しませてもらっています。

そうしたつながりから、西九州大学健康福祉学部社会福祉学科の講義の一環として当事業所を使っていただくことが実現しました。

事業所の行事を学生の方に企画から進行全てを取り仕切ってすすめて頂いています。職員と当日まで何度も打合せを行います。どんな企画で進めるのか、学生の方が提案したゲームが重度の利用者の方でも参加できるのか、さまざまな課題を学生の方に投げかけ考えてもらいました。ひとつ一つ問題点を解決していく若い学生に、もっと障がい分野を知って頂くそんな、きっかけになればと思いい事業所として力を入れています。

※参考として 西九州大学ESRDサークル <https://www.facebook.com/minna2525egao>

② 法人としての地域との交流

法人として、3ヶ月に1回『地域連携会議』を行っています。法人の本部でもある生活介護事業所「響」は、世帯数200あまりの小さな地区に福祉事業所が当事業所も含め4か所あります。当事業所以外は介護保険のサービス事業所ですが、地区の自治会長・公民館長・民生委員・地区ボランティア・各班長の方に集まって頂いての情報交換会を実施しています。地区の困りごとを一緒に話し合ったり、各事業所の紹介をしたり、イベントへのお誘いをお互いにしながら地域での役割を作っていくことにも力を入れています。最初はよそよそしかった会も最近では、悩み相談の場であったり、地区の行事への協力依頼であったり、実りの多いものになってきています。

☆医療的ケア ～機能維持を目的として、法人の特性を生かす～

当事業所においては、食後の投薬、てんかん、胃ろうの方、経管栄養の方、気管切開されている方おられるため、医療的ケアは欠かせません。そのため、医療機関との連携を大切にしています。利用者の安定した生活の為、医療機関のソーシャルワーカーの方と連絡を密にとりケアについてケースカンファレンスをして頂くことも多いです。

また、利用者や保護者の希望にてマッサージや歩行訓練も活動の中に取り入れています。法人の中で、居宅介護・重度訪問介護・行動援護等も行っているため、事業所の職員が他のサービス事業所と兼務にて業務を行っている強みもあって、利用者の方の通院や訓練へヘルパーとして同行し医療機関でいろいろなことを学べます。訓練に同行することで、装具の正しい装着から歩行、各利用者への動作法を学べたり、嚥下についても知ることが出来ます。また、居宅介護に入れば日中とはまた違った利用者の方の表情を見ることもできます。その学んだことを日中の事業所で情報の共有に努めながら生かし、実践しています。

また、逆に日中の運動不足を少しでも解消するために、移動支援にてプールに行ったり体育館へバトミントンに行ったりと、それぞれのニーズに合わせて事業所を飛び越えた連携が出来るようになってきました。

今後は、事業所間の連携を強化しながらもっと利用者に寄り添えるサービスや質の向上地域へのつながりの強化に力を注いでいきたいと思っています。